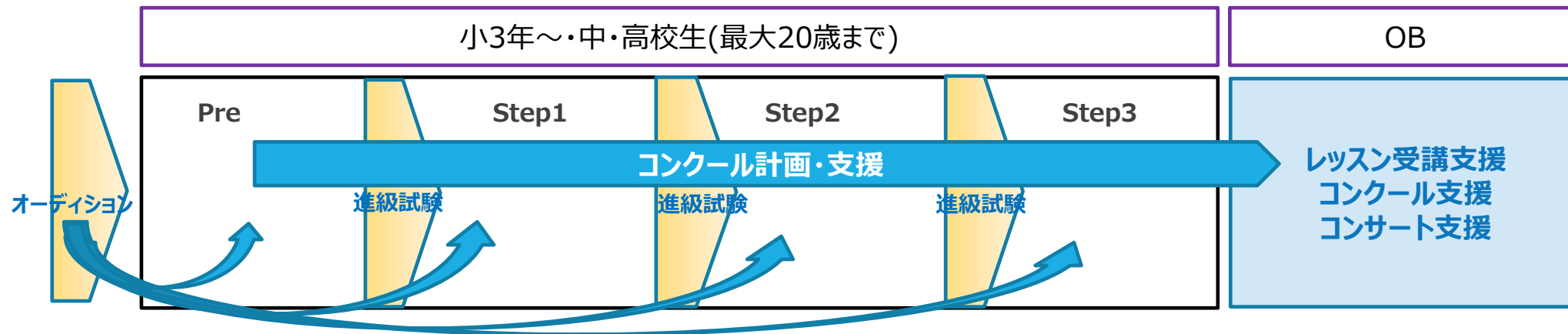


# ヤマハマスタークラス「ピアノ特別コース」について



## <ピアノ特別コース>

コース在籍中、国際コンクールジュニア部門のファイナリストに選ばれることを目指します。

在籍は、小学・中学・高校で、最大20歳までとします。

新規入会は、小学3年生～高校1年生となります。

(2024年度の新規募集は、2024年4月2日現在の学年となります。)

## 【入会時のステップの目安】

・小3～小6は、Pre以上に、入会

・中1～高1は、Step1以上に、入会

※オーディション結果により、Stepを決定します。

コース修了後、海外で研鑽を積み(留学)、国際コンクール入賞ができることを目指します。

マスタークラス修了後も、特別レッスン受講の機会や、コンクール、コンサート支援等、様々な支援を行ってまいります。

# ピアノ実技レッスン ステップにおける目標について

ステップ	目標	コンクール目標	ステップで必ず経験すべき作品	作品(作曲家) 例
Pre 目安: 小3～ 小6	演奏家に必要な技術・表現力の習得	コンクール目標なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バロックの作品 ※特に対位法で書かれた作品</li> <li>・古典派のソナチネ・ソナタ</li> <li>・練習曲</li> <li>・ロマン派、近現代の小品</li> </ul>	J・S・バッハ インヴェンション シンフォニア組曲など クレメンティ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなど ツェルニー クラーマー=ビューローなど スケール・カデンツ シューマン、ショパン、メンデルスゾーン、グリーグ、ドビュッシー、バルトークなど
Step 1 目安: 中1～ 中2	演奏家に必要な技術・表現力の習得	コンクール目標なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バロックの作品 ※特に対位法で書かれた作品</li> <li>・古典派のソナタ</li> <li>・演奏会用練習曲</li> <li>・ロマン派の作品 ※小品だけではなく15分程度の作品も含む</li> <li>・近現代の作品</li> </ul>	J・S・バッハ 平均律、組曲など  ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン など ショパン、リスト など シューマン、グリーグ、ショパン、リストなど
Step 2 目安: 中3～ 高1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オルベテッロ国際コンクール (ジュニア部門)</li> <li>・ピアノタレント国際コンクール (C,D部門) などの海外の中規模コンクール</li> </ul>		ドビュッシー、ラヴェルなど
Step 3 目安: 高2～ 20歳	リサイタルが開催できる演奏力の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジーナバックアウワー国際コンクール (ヤング部門)</li> <li>・エトリング国際青少年ピアノコンクール などの著名な海外のコンクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず経験すべき作品は定めない。</li> <li>リサイタルを実施できるようなプログラムを準備し、演奏できること</li> <li>※自身の強みを聴衆にアピールできるプログラムを自身で構築すること</li> <li>・アンサンブルや協奏曲も自身のレパートリーに入っていること</li> </ul>	

# 総合音楽科レッスンについて

## ◆総合音楽科のレッスンで目指すこと

- ・作品の構成、ハーモニー等の音楽理論を理解し、ピアノ実技のレッスンをスムーズに受講できることを目指します。
- ・自身のリサイタル等で自身の言葉で作品解説ができる事を目指します。また自身のリサイタルのプログラムに、自作曲・編曲作品等を組み込む事ができ、協奏曲のカデンツァ程度の作曲ができることを目指します。
- ・ここで培った能力を、音楽表現につなげます。（作品の解釈と、作曲家が作品にこめた意図の理解）

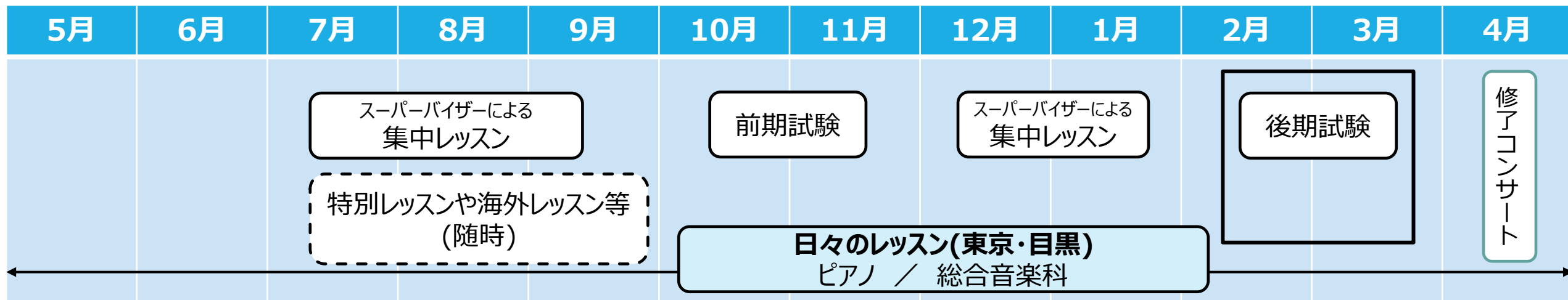
## ◆総合音楽科の位置づけ「音楽表現(演奏)につながる、総合音楽力の育成」 ⇒ 2領域・5項目

【実技】 項目	読譜	リズム	視唱	聴音	鍵盤
ソルフェージュ 領域	各音部記号による 素読、歌唱 (クレ読み)	各拍子による素読、 リズム打ち	各調性、各音部 記号による初見、 視唱(単旋律、伴 奏付き)	メロディー 二声 四声	初見演奏 移調奏 スコアリーディング

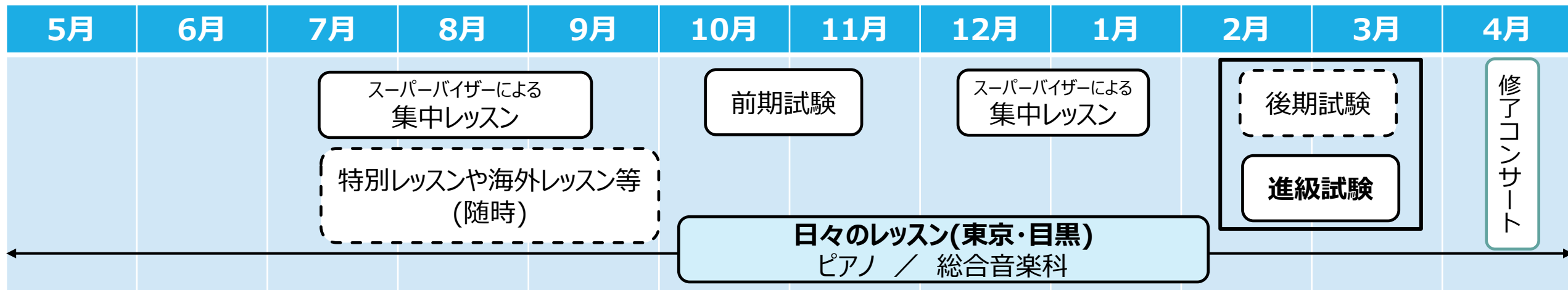
【理論】 項目	楽典	楽曲分析	音楽史	和声法	創作
音楽知識・教養 領域	基礎的な音楽理 論の理解	各形式、作曲家 の理解と解釈	時代背景・様式の 理解と解釈	和声進行の書法 の理解	小品の創作

# 「ピアノ特別コース」 年間スケジュール

## ステップ 1年目



## ステップ 2年目



上記以外に、スーパーバイザーによるオンラインレッスンを実施します。